

記入日： 年 月 日
記入者： _____

「肉用牛の飼養管理に関する技術的な指針」に関するチェックリスト

このチェックリストは、「肉用牛の飼養管理に関する技術的な指針」のうち、アニマルウェルフェアの考え方を満たす飼養管理のために必要な項目である【実施が推奨される事項】を抜粋し、農場内での飼養管理がアニマルウェルフェアの考え方に対応しているかどうかを定期的にチェックしていただくために作成したものです。

現在、既に行っていれば「はい」に、行っていない場合は「いいえ」に印を付けてください。「いいえ」である項目については、改善のための検討等を行っていただき、牛にとって快適な状態の提供に向けて改善を進めていただくことが必要となります。

1つのチェック項目の中に複数の実施事項がある場合、全て既に行っている場合にのみ「はい」に印を付けてください。

なお、設問等の内容で御不明な点がある場合は、指針の本文を御参照ください。

第1 管理方法

1 観察・記録

チェック項目	はい	いいえ
① 1日1回以上、飼養環境や健康状態の悪化の兆候がないかを確認していますか。（例：牛の体調、採食や反芻の状態、損傷や跛行の発生状況、休息の状況、行動等）	☐	☐
② 飼養管理に関する記録（日誌や報告書等）を毎日つけていますか（例：牛の健康状態、疾病及び事故の発生の有無並びにその原因、繁殖記録、飼料の給与量、気温等）。	☐	☐

2 牛の取扱い

チェック項目	はい	いいえ
① 牛に不要なストレスを与える突発的な行動や、手荒な扱いを避け、可能な限り丁寧に取り扱っていますか。	☐	☐
② 牛を取り扱う際に使用する道具は、牛に不要な痛みを与える可能性のあるものを使用しないようにしていますか。	☐	☐

3 除角（実施している場合はお答えください 該当しない ☐）

チェック項目	はい	いいえ
① 除角は、獣医師等の指導の下、可能な限り苦痛を生じさせない時期と方法を選択していますか。また、必要に応じて獣医師による麻酔薬や鎮痛剤の投与の下で行っていますか。	☐	☐
② 除角は、触ると角が分かるようになる時期以降で、角が未発達な時期（遅くとも生後2か月以内）に行うか、角が発達後に除角する場合、常に獣医師による麻酔薬の投与の下で行っていますか。	☐	☐

チェック項目	はい	いいえ
③ 除角の実施後は、牛を注意深く観察し、化膿等が見られる場合、速やかに手当又は治療を行い、必要に応じて実施方法を見直していますか。	☐	☐

4 断尾

チェック項目	はい	いいえ
断尾は行わないようにしていますか。	☐	☐

5 去勢（実施している場合はお答えください 該当しない ☐）

チェック項目	はい	いいえ
① 去勢は、可能な限り苦痛を生じさせない最適な方法及び時期について獣医師の指導を求め、離乳時期と重ならないよう考慮する等、牛へのストレスの防止や感染症の予防に努めていますか。	☐	☐
② 去勢は、生後3か月以内に行い、3か月齢を超える場合、なるべく早期に行うとともに、麻酔や鎮静について獣医師の指導を求め、必要と判断された場合は、獣医師による麻酔薬や鎮痛剤の投与の下で行っていますか。	☐	☐
③ 去勢の実施後は、牛を注意深く観察し、化膿等が見られる場合、速やかに手当又は治療を行っていますか。	☐	☐

6 個体識別

チェック項目	はい	いいえ
耳標を装着する際、牛へのストレスを極力減らし、可能な限り苦痛を生じさせないように、適切な位置に装着していますか。	☐	☐

7 蹄の管理

チェック項目	はい	いいえ
日常的にこまめに蹄を観察し、少なくとも1年に1回は削蹄を行っていますか。	☐	☐

8 鼻環（実施している場合はお答えください 該当しない ☐）

チェック項目	はい	いいえ
① 鼻環を装着する際、牛へのストレスを極力減らし、可能な限り苦痛を感じさせないように、素早く適切な位置に装着していますか。	☐	☐
② 鼻環を装着した後は、過度に捻る等の不適切な使用はせず、誤って牧柵等に鼻環を引っかけて牛が損傷しないように注意していますか。	☐	☐

9 繁殖（実施している場合はお答えください 該当しない ☐）

チェック項目	はい	いいえ
① 雌牛の性成熟の程度や体格等を考慮して、交配する種雄牛や性選別精液の選択に注意していますか。	☐	☐

チェック項目	はい	いいえ
② 未経産牛は十分な身体的成熟に達してから繁殖に供していますか。※未経産牛を繁殖に供していない場合はチェック不要	☐	☐
③ 家畜人工授精や家畜受精卵移植を行う場合、適期での授精や移植に努め、可能な限り苦痛を生じさせないよう、獣医師や家畜人工授精師等の適性を有する者が行っていますか。	☐	☐

10 分娩（実施している場合はお答えください 該当しない ☐）

チェック項目	はい	いいえ
① 分娩区域は、牛に清潔で快適な環境（敷料、分娩房の提供、適切な気温、衛生等）となるよう、十分に清掃し清潔に保っていますか。	☐	☐
② 夜間の分娩に備えた照明、保温及び滑り止めのための新しい敷料等を提供していますか。	☐	☐
③ 妊娠している牛は、妊娠期間や分娩の兆候を踏まえ、分娩が始まる前の適切な時期に分娩区域に移動させていますか。	☐	☐
④ 分娩兆候が現れてからは、経過を観察し、必要に応じて獣医師等の指導が受けられる体制になっていますか。	☐	☐
⑤ 分娩介助を分娩時間の短縮を目的として行わないようにしていますか。	☐	☐
⑥ 分娩区域の温度管理や換気は、新生子牛に合わせて行っていますか。	☐	☐
⑦ 新生子牛は丁寧に取り扱い、移動させる場合は臍帯が乾燥した後に行っていますか。	☐	☐

11 母子分離及び離乳（実施している場合はお答えください 該当しない ☐）

チェック項目	はい	いいえ
① 母子分離が母牛と子牛にとってストレスになることを理解し、計画的に行っていますか。	☐	☐
② 離乳は、反芻機能の発達に応じて段階的に行い、子牛の成長に影響を与えることなく、良好な飼養環境を確保していますか。	☐	☐
③ 早期離乳を行う場合、子牛の生理的特性及び行動特性を十分に理解し、必要な設備が整った上で、技術を有する者が計画的に行っていますか。※早期離乳を行わない場合はチェック不要	☐	☐
④ 離乳後の育成期間中は、同体格の牛で群飼していますか。※単飼している場合はチェック不要	☐	☐
⑤ 母子分離や離乳は、外科的処置や長時間の移動等他のストレスを伴う処置と同時に行わないようにしていますか。	☐	☐

12 疾病、事故等の措置

チェック項目	はい	いいえ
① 牛へのワクチン接種及び治療は、獣医師の指導の下、牛の痛みや恐れに配慮した手法により行っていますか。※獣医師にワクチン接種及び治療を依頼している場合は「はい」にチェック	☐	☐

チェック項目	はい	いいえ
② 疾病に罹患し、又は損傷しているおそれのある牛が確認された場合、可能な限り丁寧に移動させ、分離し、迅速に手当を行っていますか。	☐	☐
③ 疾病に罹患した牛又は損傷した牛について、治療、緊急出荷又は安楽死させるかどうかを決定するため、獣医師による速やかな診断を受けていますか。	☐	☐
④ 獣医師の診断を踏まえ、判断権限がある者が牛を安楽死させることを決定した場合、「家畜の農場内における安楽死に関する技術的な指針」を参照し適切に行っていますか。※安楽死を獣医師に依頼する場合は「はい」にチェック ※安楽死をさせたことがない場合はチェック不要	☐	☐

13 牛舎等の清掃・消毒

チェック項目	はい	いいえ
① 牛舎の清掃や消毒等を行い、施設、設備等を清潔に保っていますか。	☐	☐
② 排せつ物は適切に取り除き、敷料の追加又は交換により床を乾燥した状態に保っていますか。	☐	☐
③ 牛房が空いたときには、敷料等を取り除き、徹底した清掃及び消毒を行っていますか。	☐	☐

14 農場内における防疫措置等

チェック項目	はい	いいえ
① 家畜伝染病予防法に基づく「飼養衛生管理基準」を遵守するとともに、「飼養衛生管理マニュアル」を作成し、その実施と定期的な見直しを行っていますか。また、日常から伝染性疾患の発生予防に必要な知識を習得していますか。	☐	☐
② 牛に異状が認められた場合、獣医師等に相談するとともに、家畜伝染病予防法に基づく特定症状が確認された場合、直ちに家畜保健衛生所に通報する体制ができていますか。	☐	☐
③ 病原体を伝播する有害動物や吸血昆虫、外部寄生虫の侵入及び発生を防止するとともに、発生時は速やかに駆除していますか。	☐	☐

15 牛群構成及び社会的環境

チェック項目	はい	いいえ
① 疾病に罹患し、又は損傷した牛、幼齢又は高齢の牛、体格差のある牛等に注意して、牛を管理していますか。	☐	☐
② 過度な闘争行動やマウンティングが見られる牛は、必要に応じ、適切な隔離を行い、牛群から移動させていますか。	☐	☐
③ 育成は、同程度の週齢・体格の牛群で行い、その際、相互に耳、乳首、外部生殖器、尾等を吸い合う行動の発生防止措置を講じていますか。※育成していない場合はチェック不要	☐	☐

16 管理者等のアニマルウェルフェアへの理解等の促進

チェック項目	はい	いいえ
① アニマルウェルフェアの指標や改善方法について知識と技術を習得していますか。	☐	☐
② 牛の健康及び良好な飼養環境を確保するため、十分な人数の飼養者等を確保していますか。	☐	☐

第2 栄養

1 必要栄養量・飲水量

(1) 肉用牛全般

チェック項目	はい	いいえ
① 発育段階や肥育ステージ等に応じて飼料及び水を毎日過不足なく給与し、適正なボディコンディションの範囲を逸脱しないように管理していますか。	☐	☐
② 牛の正常な消化管内環境を維持できるよう粗飼料を一定の割合で給与し、その質及び量に十分留意していますか。	☐	☐

(2) 肥育牛（実施している場合はお答えください 該当しない ☐)

チェック項目	はい	いいえ
① 粗飼料を一定の割合で給与し、その質及び量に十分留意していますか。	☐	☐
② 「日本飼養標準－肉用牛」、「日本標準飼料成分表」等を参照して、ビタミンAを始めとする栄養の適切な給与に注意していますか。	☐	☐

(3) 繁殖雌牛（実施している場合はお答えください 該当しない ☐)

チェック項目	はい	いいえ
① 妊娠末期や授乳期等のステージに応じた飼料を給与していますか。	☐	☐
② 過肥にならないよう、適切なボディコンディションを維持していますか。	☐	☐

2 飼料・水の品質の確保

チェック項目	はい	いいえ
① 給餌及び給水の設備は、機器の製造メーカーの推奨する頻度を考慮して、定期的に点検及び清掃を行っていますか。	☐	☐
② 水は、夏季の高温や冬季の凍結に注意していますか。	☐	☐
③ 飼料及び飼料原料は、その品質を確保し、適切に管理するとともに、牛の健康に悪影響を与える物質の有無について適宜検査していますか。※検査は購入先の添付書類等で確認した場合を含む。	☐	☐

3 給餌・給水方法

チェック項目	はい	いいえ
① 給餌及び給水の設備は、全ての牛が必要な量の飼料、水及び栄養を問題なく摂取できるようにしていますか。	☐	☐
② 給餌時間は、可能な限り毎日同じ時間としていますか。	☐	☐
③ 新規の飼料等を導入する際、徐々に導入し、嗜好性の良い粗飼料をいつでも摂取できるようにしていますか。	☐	☐

4 初乳及び子牛の給餌（実施している場合はお答えください 該当しない □）

チェック項目	はい	いいえ
① 出生後、24 時間以内に良質な初乳を十分量飲ませていますか。	☐	☐
② 初乳は伝染性疾病に感染するおそれのないものを飲ませていますか。	☐	☐
③ 生後 1 週間頃から良質な固形飼料（人工乳、乾草など）を給与していますか。	☐	☐
④ 2 週齢を超える子牛には、1 日当たりの必要量を満たす濃厚飼料及び粗飼料を与えていますか。	☐	☐

第3 牛舎

チェック項目	はい	いいえ
① 気象環境の変動によって牛舎内の温度及び湿度が大きく変化しないよう維持及び管理していますか。	☐	☐
② 牛舎の破損箇所によって牛が損傷しないよう修理を行うなどしていますか。	☐	☐
③ 野生動物、ネズミ、ハエ等の有害動物等の侵入や発生を抑制するよう管理していますか。	☐	☐
④ 日常の飼養管理や牛の観察が行いやすい構造になっていますか。	☐	☐

1 飼養方式

（1）繋ぎ飼い方式（実施している場合はお答えください 該当しない □）

チェック項目	はい	いいえ
① 妨げられることなく、横臥し、起立し、自然な姿勢を維持し、毛繕いができるようにしていますか。	☐	☐
② 繋がれていない状態で運動が十分にできるように可能な限り工夫をしていますか。	☐	☐

（2）放し飼い方式（実施している場合はお答えください 該当しない □）

チェック項目	はい	いいえ
牛同士の闘争や競合による損傷が発生しないよう、よく観察し、飼養密度や牛群の編成に注意していますか。	☐	☐

(3) 放牧方式（実施している場合はお答えください 該当しない □）

チェック項目	はい	いいえ
① 電気牧柵及びゲートは、正しく設置及び維持し、取扱説明書等に従って適切に使用していますか。	☐	☐
② 良好な衛生状態を確保し、疾病や損傷のリスクを抑えるため、牛を放牧地間で適切に移動させていますか。	☐	☐

2 構造・設備

チェック項目	はい	いいえ
① 牛房内に水が溜まらない構造となっていますか。	☐	☐
② 牛舎や牛房、通路等は、牛が損傷しないよう、適切に管理していますか。	☐	☐
③ 牛床には敷料があり、清潔で乾燥した横臥場所を提供していますか。	☐	☐

3 飼養空間

チェック項目	はい	いいえ
① 同じ牛群の全ての牛に対して、妨げられることなく、同時に横臥し、休息し、起立し、毛繕いするために十分な空間を与えていますか。	☐	☐
② 異常な行動が見られる場合、飼養空間の再設定等の是正措置を講じていますか。	☐	☐

第4 牛舎の環境

1 熱環境

チェック項目	はい	いいえ
① 気温が高いときに牛が快適性を維持できるよう、暑熱対策を行っていますか。	☐	☐
② 新生子牛に寒冷対策を行っていますか。※新生子牛を飼養していない場合はチェック不要	☐	☐

2 換気

チェック項目	はい	いいえ
牛舎内で作業を行う管理者等が、牛の頭の高さで臭気を不快に感じる状態とならないよう、牛舎全体に、常に新鮮な空気を供給していますか。	☐	☐

3 照明

チェック項目	はい	いいえ
牛の正常な行動や飼養者等の日常作業に支障が生じないよう、適切な照明設備等を設置していますか。	☐	☐

4 騒音

チェック項目	はい	いいえ
牛舎内外の設備等による騒音や突然の大きな騒音は、可能な限り小さくするよう、設置及び維持・運用していますか。	☐	☐

第5 アニマルウェルフェアの状態確認等

1 アニマルウェルフェアの状態確認

チェック項目	はい	いいえ
本チェックシートを用いて定期的に現状の飼養管理を確認していますか。	☐	☐

2 設備の点検・管理

チェック項目	はい	いいえ
設備が正常に作動しているか少なくとも1日1回点検し、故障を発見した場合、迅速に修理していますか。	☐	☐

3 緊急時の対応

チェック項目	はい	いいえ
① 自然災害に備えるため、緊急時計画又は危機管理マニュアル等を整備し、習熟するとともに、全ての関係者と共有していますか。	☐	☐
② 警報や発電機などの予備システムは、機器の製造メーカーの推奨する頻度を考慮し、定期的に点検していますか。※緊急時に予備システム等が必要であるが整備していない場合は「いいえ」にチェック ※予備システム等が不要な場合はチェック不要	☐	☐
③ 自然災害等の影響により、牛や牛舎等に被害が生じるおそれがある場合、可能な限り、事前に対策をとっていますか。	☐	☐

肉用牛にとって快適な状態であるかを確認するためのチェックリスト

このチェックリストは、牛が快適な状態であるかを確認するための指標です。「肉用牛の飼養管理に関する技術的な指針に関するチェックリスト」を記述した際に、併せてチェックしてください。そのほか、飼養環境が変化した際など、適宜チェックしてください。「はい」の項目がある場合は、獣医師や専門家等に意見を求めるとともに、日常の管理方法や栄養、牛舎等に問題がないかを再確認しましょう。

第1 餌・水

チェック項目	はい	いいえ
① 極端にボディコンディションが悪い牛（太りすぎ、痩せすぎ）がいる。	☐	☐
② 摂食量が著しく落ちている牛や急激に体重が変化した牛がいる。	☐	☐
③ 消化系疾病（下痢、反芻の消失等）の兆候のある牛が増えている。	☐	☐

⇒「はい」がある場合は、給餌・給水方法、子牛であれば初乳給与、離乳時期等の再確認が必要です。

第2 恐怖

チェック項目	はい	いいえ
① 攻撃行動が激しい牛がいる。	☐	☐
② 管理者等への反応が著しく過度な牛や、管理時の取扱いの際に抵抗する牛がいる。	☐	☐

⇒「はい」がある場合は、牛の取扱方法、飼養方法等の再確認が必要です。

第3 物理的環境

チェック項目	はい	いいえ
① 通常と異なる呼吸数の増加や流涎を引き起こしている牛がいる。	☐	☐
② 体が震えている牛がいる。	☐	☐
③ 体が著しく汚れている牛や、脱毛、被毛粗剛、被毛の色の異状等が見られる牛がいる。	☐	☐
④ 飛節や蹄冠、頸部（頸の後ろ側）が腫れている牛がいる。	☐	☐
⑤ 移動中に足を滑らせている牛がいる。	☐	☐

⇒「はい」がある場合は、暑熱・寒冷対策の再確認や換気設備、牛舎施設の点検・整備等が必要です。

第4 苦痛・傷害・疾病

チェック項目	はい	いいえ
① 疾病や損傷が見られる牛が増えている。	☐	☐
② 咳をしたり、呼吸に異状が見られる牛が増えている。	☐	☐
③ 跛行している（正常な歩行ができない）牛が多くいる。	☐	☐
④ 去勢・除角・鼻環等の処置後に合併症を引き起こしている牛がいる。	☐	☐
⑤ 寄生虫やハエ等の発生が多く見られる。	☐	☐

チェック項目	はい	いいえ
⑥ 難産・死産の発生が増えている。	☐	☐
⑦ 繁殖成績（分娩間隔・受胎率・流産率等）が著しく悪い牛が増えている。	☐	☐
⑧ 廃用にする牛や死亡する牛が増えている。	☐	☐

⇒「はい」がある場合は、牛舎施設の点検・整備、外科的処置の実施方法等の再確認が必要です。

第5 行動

チェック項目	はい	いいえ
① 自由に起立・横臥・毛繕いができない牛がいる。	☐	☐
② 休息時間が極端に短い牛や長い牛がいる。	☐	☐
③ 同じ行動や行為を目的もなく何度も繰り返し続ける牛がいる。	☐	☐
④ その他の異常行動（無反応・過度な乗駕など）を起こしている牛がいる。	☐	☐

⇒「はい」がある場合は、床の状態、飼養空間、係留状態等の再確認が必要です。